

ナンバリング	授業科目名 (科目の英文名)	区分
M314Z201	研究室配属 I (Practical Research Experience Program I : PREP I)	専門科目 研究科目

必修選択	単位	対象年次	学期	曜・限	担当教員
必修	2	2	後期	木・5	全教員 内線： E-mail：

【授業の概要・到達目標】

研究活動に従事している医師・研究者から早期に研究指導を受けることにより、研究の重要性・醍醐味を知り、研究的探究心（リサーチマインド）を育むことを目的とする。また、将来の科学研究を担う融合人材、且つ研究チームの一員として協調的な学修環境の中で問題解決能力を高め、幅広い研究領域に対する学修意欲の向上につなげる。研究室配属 I は、研究活動における基礎的な内容（研究倫理、基本的な実験技術、論文検索・講読方法等）について学修し、研究室配属 II への基盤科目とする。

具体的な到達目標	ディプロマポリシーとの対応					
	1	2	3	4	5	6
1. 研究倫理（各々の研究に対する倫理指針と法律）を理解する。	○			○		
2. 研究は、科学の発展や患者の利益増進を目的としていることを説明できる。				○	○	
3. 講義・教科書・論文等の内容から、重要事項や問題点を抽出できる。	○					○
4. 得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理することができる。	○		○		○	○
5. 講義・実習で得た知識をもとに、実験や解析ができる。	○	○				○

【授業の内容】

- ・特定の研究テーマに焦点を絞り、それを扱う研究室で実際の研究活動に従事し経験を深める。
- ・様々な研究テーマの存在について知り、それらのテーマを解明するための方法論を実践することを通して、発見の喜び、研究者の苦悩、研究者間の交流や情報交換などに直接触れる機会を持つ。
- ・研究室で行われている研究・実験の補佐から共同研究者としての活動、実験やフィールドで得られたデータの処理や解析などを指導教員や大学院生とともに行う。
- ・「研究室配属 I」の期間終了後、成果をレポートにて提出する。
- ・研究室配属実行委員を学生から選出し、配属先の決定等の企画運営を含め、専任教員の指導を仰ぎながら全て学生主導で行う。
- ・将来の学会運営と発表のシミュレーションを行うことも目的とする。

【研究成果のレポート提出】

1. 報告書

指導教員の指示に従い、期間内（先行配属期間も含む）に実施した内容をまとめる（下記参照）。

また、報告書の作成に当たっては、実施内容を実習参加学生にも理解できるよう努める。このことで学生の研究実施分野以外の領域への理解を深め、今後の学習意欲の向上を図る。

（例）「課題解決研究」のまとめ方

①目的（研究背景）、②方法、③結果（図表を含めてもよい）、④考察、⑤（必要であれば）参考文献といった一般的な論文形式でまとめることとする。

【アクティブラーニングの内容・その他の工夫】

A：知識の定着・確認	○	研究プロセスを繰り返し復習する。	・グループワークや口頭発表を行い、研究計画や結果について他の学生や教員と意見を交換する。 ・担当教員と研究結果の実践応用について議論する。
B：意見の表現・交換	○	同じ領域の学生や教員との意見交換を行う。	
C：応用志向			
D：知識の活用・創造	○	研究実践活動、レポート作成	

【時間外学修の内容と時間の目安】

準備学修	文献検索に慣れる。原著論文などさまざまな形式の論文を読む。(30 h)。
事後学修	研究結果について、他の学生や教員と議論する。(30 h)。

【教科書】 なし**【参考書】** なし**【成績評価方法及び評価の割合】**

評価方法	割合	目標 1	目標 2	目標 3	目標 4	目標 5
研究への取り組み方	20%	○	○	○	○	○
レポート提出	80%	○	○	○	○	○

【注意事項】**【備考】**

教員の実務経験の有無	<input type="radio"/>	
教員の実務経験		医師、臨床検査技師、臨床工学技士
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	<input type="radio"/>	
教員以外の指導に関わる実務経験者		医師、臨床検査技師、臨床工学技士
実務経験をいかした教育内容		医師・臨床検査技師・臨床工学技士・研究者としての経験から課題を抽出し、研究の方法や進め方、結果の解釈および考察の仕方の実際についての学習を支援する。
授業形態		対面